

2023年 1月11日発行

一般社団法人日本音楽療法学会 中国支部

ニュースレター 第41号

e-mail: jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp

ホームページ: <http://jmta-cc.org/>

ごあいさつ

中国支部支部長 武田 千代美

新年あけましておめでとうございます。

中国支部会員の皆様には、今年もまた晴れやかに良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

中国支部よりニュースレターをお届けいたします。前号よりニュースレターは支部ホームページで公開し、郵送することを廃止いたしました。

今後は、支部大会やLSCのご案内などもホームページでお知らせすることとなります。皆様、ホームページのチェックをよろしくお願いいたします。

さて、昨年はコロナ禍の中、全国大会を広島で開催いたしました。現地とオンラインでの併催としたため準備も大変でしたが、大過なく無事終えることができました。これも中国支部会員の皆様のご協力の賜物と、深く感謝いたしております。皆様ありがとうございました。

大会を終えて、しばらくホッとしておりましたが、中国支部は事務局の移転に係る色々な作業があり、現在そのひとつずつを進めているところです。

これまで、中国支部は事務局を広島文教大学内に置かせていただき、大きな恩恵を受けながら運営してきました。広島文教大学様には、改めまして厚く御礼申し上げますと存じます。

ありがとうございました。

今後は、広島市内のレンタルオフィスを事務局として活動を進めて参ります。

6月の支部役員交代に伴い、これまで支部の事務局員としてご尽力いただいた合木明子先生がご退任になられました。合木先生のこれまでのご尽力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

後任に、澤矢尚子先生が就任されました。どうぞよろしくお願いいたします。

3月12日(日)にLSCのオンライン開催を予定しております。2名の参加者の方にそれぞれご自身の臨床事例に関して話題提供をしていただき、仲間同士で助言し合ったり、意見を出し合ったりする「ピアスーパービジョン」を行い、課題解決のプロセスを学びます。参加人数が限定されておりますので、早めのお申し込みをお勧めします。

5月には、支部大会を山口市で開催します。大会長の仮屋瑞穂先生を中心に、実行委員会の皆様が鋭意準備中とのことです。詳細はホームページをご覧ください。

全国大会を終えて

大会長 岩永 誠

中国支部が担当した3回目の全国大会（第22回学術大会）は、大きなトラブルもなく終えることができました。3年ぶりの対面での開催ではありましたが、オンデマンド配信も行うという併催形式となりました。そのため準備も大変で、準備委員会のメンバーには大変な作業となりましたが、皆様の頑張りでも無事終えることができました。中国支部スタッフや関係者の皆様、本当にありがとうございました。

コロナ禍であるにも関わらず、大会参加者数1,584名、講習会申し込み数1,702名と、多くの方々にご参加いただきました。大会会場にも310名の学会員に来ていただきました。久しぶりの対面での交流に花を咲かせることができました。学術大会での感染拡大もなく、胸を撫で下ろしております。

学術大会のテーマ「コミュニティでの共生を支える ～音楽療法の役割を考える～」は、前回大会を受け、地域での活動を広げていきたいという願いから設定いたしました。これを機に音楽療法士の活動の場がさらに広がっていくことを切に願っています。

大会の最終日である9月19日は台風が接近し、中国地方も暴風圏に入ることとなり、観光をされずに帰られた学会員の方々も多かったのではないかと思います。広島を満喫していただくことができなかったのは残念です。9年前の米子大会でも、前日までの大雨で交通がストップするという中での開催でした。「嵐をよぶ中国支部」なのでしょうか。次回の担当は9年後です。それに向けて、また地道に頑張っていかなければならないですね。

みなさま、本当にありがとうございました。

全国大会を終えて

大会実行委員長 頼島 敬

たったこの間のことのようにも遠い昔のようにも思い出します。第22回日本音楽療法学会学術大会。9年ぶりの中国支部担当、18年ぶりの山陽での開催です。

過去2回の大会担当で培った顔の見える関係性の中での連帯感、岩永誠大会長、武田千代美中国支部長のリーダーシップ、新旧の担当役員の行動力で、現地開催とウェブ開催のハイブリッドという充実したスケジュールを無事こなすことができました。

私は実行委員長という大役を十分果たせたか心許ないのですが、折からのコロナ禍。7-8月のそれが少し落ち着いた9月で、感染対策役も仰せつかり、感染者の報告もなく終了できたことに非常に安堵しております。

このような世相だからこそ、コミュニティでの共生というテーマで、多様性を受容しつつ、音楽療法がどれだけ社会に貢献できるかを学ぶ機会を得ました。関係してくださったすべての方々に厚く御礼申し上げます。

またお会いできることを心より楽しみにしております。

全国大会運営・参加印象記

松原 まゆみ

昨年から長い準備期間を経て開催にこぎ着けた広島での全国大会は、コロナ感染拡大状況の変化に翻弄されながら、多くの悩みや不安、葛藤のなかでの開催となりました。実行委員の一人として、これまで経験の無い、現地開催とオンデマンド開催の併催の大変さを身にしみて感じた大会ともなりました。準備期間中、委員の間では、つい愚痴や不満が飛び交うこともありましたが、終わってみればそれも良い思い出です。

そして、今回特に感じたのが、講演や講習会のオンデマンド配信の有り難さでした。過去2回担当した全国大会では、実行委員は当日これらの受講はほとんど出来ず、「是非この先生に！」と思い依頼した講習も自分は聴講できないという残念な状況でした。9年前の米子での全国大会の際は、講師の先生方に許可を得てスタッフ用にビデオ撮影させていただき、後日皆で視聴会をおこなったりもしました。しかし、今回はオンデマンド配信ということで、後日、興味のある講座を何講座でも、自分のペースで、しかも繰り返し視聴できるという恩恵にあずかることが出来たのです。これは本当に有り難いことで、私もたくさんの講座を受講させていただきました。一昨年熊本大会からコロナ禍でやむを得ず始まったオンデマンド配信形態ですが、このような大きなメリットもあるということをあらためて感じた次第でした。オンラインでの会議や講習会が日常的におこなわれるようになって今、コロナ禍が収まっても、こういった方法は残っていくかも知れません。

私が受講させていただいた講座はどれも素晴らしい内容のものばかりでしたが、特にいくつかの講座で共通して心に残ったのが、クライアントとセラピストの関係性についての考察でした。「療法」とは何かという、最近自分自身が深く考えていることに多くの示唆を与えてもらえたように思います。セラピストからクライアントへ何かを提供する、教える、変容させるという一方的なものではなく（もちろん対象者の年齢や状態によってはそれも必要ではありますが・・・）、セラピストがクライアントと同じ目線に立ち、理解する努力をし、相互に影響し合う中で見えてくるもの、変わってくるものがあるという大切なことを、いくつかの講座の中で学ばせていただきました。私にとって大変有り難い機会となりました。

この大会を通していろいろなことを学ばせていただきました。苦労を共有した実行委員の皆さま、素晴らしい講義をお聞かせいただいた講師の先生方に、あらためて心からの感謝を申し上げたいと思います。

スタッフとして参加した全国大会

中田 哲也

講習会がある金曜日の朝、私は、恐る恐る会場入りしました。これまで、準備のためにWeb会議やメールで連絡を重ねてきた先生方に初めてお目にかかることが出来るからです。そんな新人実行委員の私に実行委員の先生方は優しく声をかけてくださいました。緊張はほぐれ、「中国支部のために頑張ろう」と気持ちを新たにスタッフの仕事へと向かうことができました。

今回私に与えられた係はクローク（手荷物預かり）です。参加者の方々が会場に入って一番初めに接するスタッフであり、帰り際は最後に接する会場スタッフです。大会イメージをも印象づける大事な役割を任されたと感じましたので、親切・丁寧・迅速な対応を心がけて臨みました。

3年ぶりの対面での開催でもあった今回の大会。これまでお世話になってきた先生方、また、本部の

委員会でお世話になっている先生方にお目にかかってご挨拶する機会にも恵まれました。「やっぱり対面での開催っていいものだな」と思わずつぶやいてしまいました。コロナ禍より盛んとなったオンラインの利点については充分理解しており、その恩恵にもあずかってきました。しかし、この度3年ぶりに、会場で熱のこもった発表を聞いたり、「一言も逃さずに学んだ内容を持ち帰るのだ」とばかりに熱心にメモを取られている参加者を見たりしていると、やはり対面式は話し手も聞き手も緊張感があるのではないかと感じざるを得ませんでした。対面式とオンラインの同時開催の準備や運営はとても大変でしたが、事故や感染もなく無事に終えることができました。実行委員や関係者の先生方、対面やオンラインで参加された皆様、ありがとうございました。



今後の支部活動のお知らせ

2022 年度ラーニングサポートセンター(LSC)研修会

開催時期：2023 年 3 月 12 日（日）

開催場所：オンライン

内 容：ピアスーパービジョン等

*詳細が決定次第、支部HPにアップロードします

中国支部 第21回支部大会・第27回講習会

開催日時：2023 年 5 月 27 日（土）・28 日（日）

開催場所：山口県総合保健会館（山口市）

大会長： 仮屋 瑞穂

コロナウィルス感染症の拡大に伴い、2020 年より延期としておりました、中国支部大会を山口市にて開催します。3年ぶりの対面の大会です。

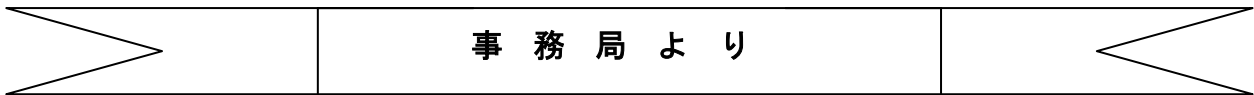
会員の皆様のご参加をお待ちいたしております。支部HPをご覧ください。



講習会のお知らせ

中国支部ホームページで各認定団体主催の講習会の開催予定をお知らせします。

参加のお申し込み、お問い合わせは、直接、各認定団体に行ってください。支部事務局ではお取り扱いできませんので、ご了承ください。また、これ以降に認定された講習会については、随時、中国支部ホームページ上に掲載いたします。各認定団体の連絡先は、中国支部ホームページでご確認ください。



♪ 会員の異動および住所変更について ♪

会員の皆様が、転居等により支部を移られる場合、あるいは、住所変更された場合は、すみやかに日本音楽療法学会事務局（下記連絡先）にご連絡ください。支部事務局では、学会事務局から隔月に送られてくる名簿により、発送の事務を行っております。したがいまして、支部事務局に住所変更、入会・退会のご連絡をいただきましても、支部ではお手続きができませんので、ご承知おきください。

住所・名義の変更は、インターネット上で行うことができます。日本音楽療法学会ホームページ <http://www.jmta.jp/formalities/change.html> から変更してください。

また、大学卒業後も学生会員のまま、登録変更をされてない方がおられます。学生会員の方は、卒業後すみやかに正会員への変更手続きを行ってください。

入会・退会手続き 会員区分変更手続き 住所変更手続き 等につきましては、
会員番号 氏名 旧住所（旧所属支部） 新住所 を明記され、学会事務局にご連絡ください。

日本音楽療法学会事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町1-20-8 HK浜松町ビル6階

また、お届けの住所の居住者表示と会員の苗字が異なる場合は、「～方」までお届けください。学会事務局及び支部事務局からお送りするニュースレター等は、メール便で送られるため、居住者表示と異なる場合、返送されるようになっており、お届けできておりません。

転居して他支部へ所属が変わられる際には、住所変更をさせていただきますと、学会事務局のほうで自動的に所属支部の変更を行いますので、支部の変更の手続きは必要ありません。

♪ 事務局移転について ♪

現在、広島文教大学に事務局を置かせていただいておりますが、大学をお借りできる期限が2023年3月末までとなっております。つきましては、事務局移転に向けて準備を進めております。詳細が決まりましたら中国支部ホームページ上に掲載いたします。

